

おたる 11

OTARU CITY NEWSLETTER No.927

NOV. 2025
令和7年11月号

小樽市



ウイングベイ小樽の中にあるこども家庭センター「ここここ」のまちなか図書館で絵本を読んでいる親子。おひさまひろばに参加して、絵本を読んで、ここここを存分に楽しんでいるようでした！

- 02 仕事や生活などのお悩みはたるさばへ！
- 04 除雪に関するお知らせ
- 05 手宮公園競技場がリニューアル！
- 06 令和6年度 市職員の給与の状況など
- 07 令和6年度 小樽市職員倫理条例の運用状況

- 08 令和7年度 上半期予算執行状況
- 09 令和8年2月下旬から後志管内の消防指令業務が共同化されます
- 10 情報バレット〜くらし、教育文化、健康、その他
- 18 ~おたる子育てけいじばん
- 20 まちの写真館スマイル

おたる 11

毎月1日発行

発行・編集/小樽市総務部広報広聴課
☎0134(32)4111内線223、☎0134(27)4331
✉koho@city.otaru.lg.jp

小樽市役所

〒047-8660小樽市花園2丁目12番1号
☎0134(32)4111 (代表)
執務時間：午前9時～午後5時20分

小樽市ホームページ

小樽市



広報番組

- ☐ テレビ
小樽フレッシュニュース (STV)
毎週土曜日：午前10時25分
- ☐ ラジオ
小樽市民ニュース (FMおたる/76.3MHz)
月～金曜日：午前9時40分ごろ
土・日曜日：午前9時53分ごろ
◦明日へ向かってスクラムトライ！(同)
第1・3月曜日：午後2時
放送翌4日の水曜日：午後7時(再放送)
※FMおたるホームページからも聴くことができます。

住民基本台帳人口

(令和7年9月30日現在)
人口：10万2838人
(うち外国人人口1223人)
男4万6478人・女5万6360人
世帯数：5万9855世帯

防災関係の連絡先

小樽市消防本部 ☎(22)9137
小樽市水道局 ☎(22)8111
小樽警察署 ☎(27)0110

当番医の診療時間

祝日を除く 月～金曜日	祝日を除く 土曜日	日曜日、祝日 年末年始
夜間急病センター	夜間急病センター	夜間急病センター
午前7時～ 午前9時	午前7時～ 午前9時	午前7時～ 午前9時
午後0時30分 つけ医等	かかりつけ医等	当番医
午後2時～ 午後6時	夜間急病センター	夜間急病センター

当番病院は、テレホンサービス(録音による案内)☎224618または小樽市医師会のホームページで確認できます。
○サービス案内時間
土 曜 日：午前7時～午後2時
日曜日、祝日：午前9時～午後6時
※医療相談は行っていません。



2



3



1

まちの写真館 スマイル



4

- 1 10月14日、勤労女性センターで「グーテンターク！楽しく学ぶドイツ文化」を開催しました。ドイツのお祭りやイベント、食文化についての紹介があり、参加した方々は、新しい文化に触れて充実した時間を過ごしていました。
- 2 10月14日、ウイングベイ小樽で「秋の火災予防運動」の街頭広報を行いました。一日消防署長に就任したFMおたるパーソナリティの田口智子さんと消防団員が、買い物に訪れた人に声をかけ、住宅用火災報知器の設置や管理の大切さを呼びかけました。
- 3 9月14日、小樽港マリーナで「第3回SORAN HEART FESTIVAL」が開催され、小樽商科大学「翔楽舞」など37団体が演舞を披露しました。来場者は会場横の飲食ブースで食を楽しみながら、演舞の華やかな衣装や小物に見入っていました。
- 4 9月25日、札幌地方自動車整備振興会小樽余市支部と小樽自動車協会により「車いす点検ボランティア」が行われました。安心安全に使ってもらえるよう、市内公共施設などの車いす70台以上とベビーカー2台を丁寧に点検していました。

「広報おたる」に掲載したあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は申し出ください。

充実したセカンドライフをお手伝いします！個別相談も承ります！！

参加
無料

北海道信用金庫 年金セミナーのご案内

講師	西林社会保険労務士事務所 所長 西林 寛昌氏	日時	令和7年11月20日(木曜日) 開始：午後1時30分(講演時間：2時間15分前後)
講演	「お役に立つ年金の知識」	会場	小樽市民センター(マリンホール) 3階研修室 小樽市色内2丁目13番5号

- 令和7年度からの年金改正点についても説明させていただきます。
- セミナー終了後、個別の相談を承りますので、ご希望の方は「年金手帳」「ねんきん定期帳」をご持参ください。
- セミナーへの参加をご希望される方は、右記の連絡先までご連絡をお願いいたします。



営業推進部プラザ店 TEL: 011(241)2145
後志事業本部 TEL: 0134(22)3123
(平日9:00～17:00)

<https://www.shinkin.co.jp/hokkaido/>

年金セミナーの
詳細については
こちら



まずは相談！

生活に関する困りごと

自立相談支援事業

支援員が生活の悩みを丁寧に聞き、制度の紹介や解決方法を一緒に考えます。必要に応じて支援プランを作成し、就労・家計についてはその分野を担当する支援員が対応。さらに専門的な支援が必要な場合は、関係機関と連携してサポートします。



各機関と連携

必要に応じてたるさぽ以外の各機関と連携し、支援します。

- ・社会福祉協議会
- ・ハローワーク
- ・地域包括支援センター
- ・消費者センター
- ・民生委員、児童委員 など

相談者に合わせた支援



住居に関する支援

住居確保給付金

- ・家計改善のために必要な転居費用の支援
- ・収入が減って家賃が払えない方への家賃の支援（熱心な就職活動などの要件あり）

※給付には他にも要件があります。



家計のやりくりに関する支援

家計改善支援事業

収支の把握が難しい方や借金に悩む方を対象に、家計の見直しを支援します。相談を通じて収入・支出の状況を整理し、生活改善と自立した家計管理を目指します。

貸付・物資支援事業（小樽市社会福祉協議会）

たるさぽでは直接の貸し付けは行っていませんが、社会福祉協議会の貸付事業や物資支援事業を案内しています。貸し付けを受けると、生活再建に向けたサポートも受けることができます。なお、貸し付けは、たるさぽの支援を受けることが条件のものもあるほか、保証人が必要な場合や、審査の結果、貸し付けが認められない場合もあります。



仕事や就職活動に関する支援

就労支援事業

- ・職場体験や就労訓練の支援
- ・ハローワーク同行、企業見学、面接同行などの就労活動支援
- ・就職後の定着確認支援

就労準備支援事業

- ・生活リズムの改善やコミュニケーションスキル向上のためのレクリエーション、ワーク



認定就労訓練事業

支援付きで働く訓練の場を認定を受けた事業者が提供する事業です。北海道宏栄社とたるさぽが連携をとり、相談者のペースに合わせて働く訓練を行います。



中学生、高校生の学習や生活の支援

おたる子ども未来塾

市では、ひとり親（児童扶養手当受給）世帯と経済的に困りの世帯の中学生・高校生を対象にした「おたる子ども未来塾」を開設しています。

お子さんの学習面のサポートに不安がある方のため、進学に向けた学力アップを支援するほか、お子さん自身の進路や勉強、生活の困りごとなどの相談や、保護者の方の子育ての悩みにもお応えします。

参加は無料、毎週土曜日の午後2時間程度、勤労青少年ホームで行っています。

詳細について、ひとり親世帯の方はこども福祉課 ☎ (32)4111 内線 319 へ、その他の方はたるさぽへお問い合わせください。

▶ 11月25日(火)たるさぽ出張相談会を開催(本誌11ページへ)。12月2日(火)はハローワークおたるでも開催。

例えば…

このようなお悩みはありませんか？

- 仕事がなかなか決まらない
- 長期間、仕事から離れている
- 就職したいが、行動に移すことができない
- コミュニケーションに自信がない
- うまく家計のやりくりができない
- 家賃や電気、水道などの公共料金を滞納
- 借金の返済が大変だ
- 病気になってしまい、治療や入院の費用など、これからのことが心配だ
- 家庭内の事情で生活が不安定になっている
- 離別をしたが新しい住まい探しや収入の減少で困っている
- 家族や知人が長い間ひきこもっていて心配だ
- 社会参加をしたいが、どうすればよいかかわらない
- 学校や会社で居場所がなかった、つらい目にばかりあっていた

訪問・面談を通じて状況を整理し、利用できる制度や支援についても一緒に考えることもできます。相談者のペースを尊重しながら、継続的にサポートします。



仕事や生活などのお悩みはたるさぽへ！

こういうとき、
どうしたらいいの…？

仕事が決まらないな…
家計のやりくりが…
塾に通いたいけど…



生活の相談窓口「たるさぽ」

生活サポートセンター「たるさぽ」は、平成27年4月の「生活困窮者自立支援法」施行を受け、市が開設した自立相談支援機関です。さまざまな問題を抱えてお困りの方の相談窓口として、専門の支援員が幅広く相談をお受けしています。

たるさぽでの相談は無料です。秘密厳守で対応しますので安心してご相談ください。ただし、現在生活保護を受けている方は相談の対象外となり、「おたる子ども未来塾」就労準備支援事業のみ利用できます。詳しくは担当のケースワーカーにご相談ください。

生活や仕事、家庭のことなど、お悩みのことがありましたら、ひとりで抱え込まずに、まずはたるさぽへご相談ください。

お問い合わせ

たるさぽ市役所本館1階4番窓口
☎ 33-1124・(33)1128
☎ 33-1128
✉ tarusapo@city.oran.jp





令和7年度の除雪体制を説明します

除雪懇談会

とき	ところ
11月10日(月) 午前10時	手宮公園住宅会館(手宮2)
11月11日(火) 午前10時	真栄会館(真栄1)
11月11日(火) 午後2時	東小樽会館(桜1)
11月12日(水) 午前10時	銭函市民センター(銭函2)
11月12日(水) 午後2時	塩谷サービスセンター(塩谷1)
11月13日(木) 午前10時	桂岡十坪会館(桂岡5)
11月13日(木) 午後2時	新光南会館(新光5)
11月14日(金) 午前10時	共睦会館(長橋4)
11月14日(金) 午後2時	市役所別館3階第2委員会

※時間は一時間程度。
※都合により変更となる場合があります。
※詳細 除雪対策本部(建設事業室維持課) ☎(27)0205、FAX(27)4469

困っている方をお助けします

①福祉除雪サービス

家の玄関先から公道までの幅1m程度の生活路と生活の安全確保に必要な箇所(通気口や窓ガラス等)の除雪をひと冬に3回まで行います。
※賃貸住宅や店舗、車庫、物置、裏口の生活路等の除雪は対象外です。
※詳細 社会福祉協議会 ☎(23)7847、FAX(32)5641

②屋根雪下ろし助成

申請者が現在住んでいる住宅の屋根の雪下ろしに要した費用を1世帯につき、ひと冬1万円を上限(満たない場合は実費)に助成します。
※賃貸住宅や店舗、車庫、物置等の雪下ろしは対象外です。
※ボランティアや親族への謝礼は対象外です。
※詳細 社会福祉協議会 ☎(23)7847、FAX(32)5641

③置き雪除雪

市道の除雪路線に面している世帯に対し、道路除雪後に発生する間口の置き雪を約1mの幅で除雪します。
※詳細 申請手続きについては福祉総合相談室 ☎(32)4111 内線 301、FAX(22)6915、除雪作業については除雪対策本部(建設事業室維持課) ☎(27)0205、FAX(27)4469

対象

次の4つの条件を全て満たし、(1)～(6)のいずれかに該当する世帯

- ・令和7年度の市民税所得割が非課税
- ・自力での除排雪が困難
- ・近くに援助してくれる親類や知人がいない
- ・敷地内にロードヒーティングなどの融雪装置を設置していない

(1) 高齢者(おおむね65歳以上)のみの世帯
(2) 高齢者と児童のみの世帯
(3) ひとり親世帯
(4) 身体障害者(1～4級)のみの世帯
(5) 高齢者と身体障害者のみの世帯
(6) 身体障害者と児童のみの世帯
※生活保護世帯は対象となりません。

申し込み

①②は8年2月27日(金)まで、③は8年1月30日(金)までに担当地区の民生委員へ

除雪対策本部を11月1日に開設し、建設事業室(花園5)に本部事務局を設置しました。ここでは、除雪懇談会や福祉除雪関連事業などについてお知らせします。

除雪に関するお知らせ



PickUP!

体育施設

手宮公園競技場がリニューアル!

※詳細 生涯スポーツ課 ☎(32)4111 内線 7318、FAX(33)6608、✉syogai-sports@city.otaru.lg.jp

市内外の陸上競技大会や記録会の会場として、多くの方々に利用されてきた手宮公園競技場。この度、スポーツ振興くじ(toto・BIG・WINNER)の収益による助成金の交付を受け、大規模な整備を行いました。

今回の整備では、走路や助走路の下地を張り替えるとともに、水濺の深さをかさ上げするなど、陸上競技に必要な環境を整備し、フィールド競技用制限告知器やスターティングブロックなどの備品も新たに購入・設置しました。

この度の整備により、後志管内で唯一の公認競技場として、第3種公認陸上競技場の認定検査に合格し、市内外の大会や記録会の開催が引き続き可能となりました。

今後は、学校の部活動や地域クラブでの活用をはじめ、各種大会の開催などを通じて、子どもから大人まで幅広い世代に親しまれる競技場として、市のスポーツ振興に大きく貢献していきます。



スポーツくじ WINNER 0000 EIS

この競技場は、スポーツ振興くじ助成金を受けて整備されたものです。

あなたの力が必要です

※昨年度登録した方も再度申し込みが必要です。

砂まきボランティア

滑り止め材の散布や保管、砂箱周辺の除雪や清掃、融雪時期の砂などの回収を行うボランティアを募集しています。
※詳細・申し込み 除雪対策本部(建設事業室維持課) ☎(27)0205、FAX(27)4469

除雪ボランティア募集

「福祉除雪サービス」を利用する方の除雪を行うボランティアを募集しています。
※詳細・申し込み 社会福祉協議会 ☎(23)7847、FAX(32)5641、ホームページ(右の二次元コード)






令和8年2月下旬から 後志管内の消防指令業務が ※羊蹄山ろく消防組合を除く 共同化されます

詳細はこちら



【詳細】消防本部警防課 ☎(22)9137、☎(22)5345

119番通報の受け付けや出動指令を一元化

これまで、後志管内の119番通報は、小樽市、岩内・寿都地方消防組合、北後志消防組合の各消防本部がそれぞれに受け付けていましたが、より迅速的確な災害対応を可能にするため、小樽市消防本部では、8年2月下旬から「後志共同消防指令センター（花園2）」の運用を開始し、後志管内の対象となる市町村（小樽市、岩内町、寿都町、島牧村、黒松内町、共和町、神恵内村、泊村、余市町、古平町、積丹町、仁木町、赤井川村）の管轄区域からの119番通報を、同センター1カ所で受け付け、各市町村の消防・救急隊へ出動を指令します。

小樽市消防本部
公式キャラクター
消防犬ぶん公



より迅速な出動や情報分析が可能に

119番通報の受け付けや出動指令の一元化には、次のようなメリットがあります。

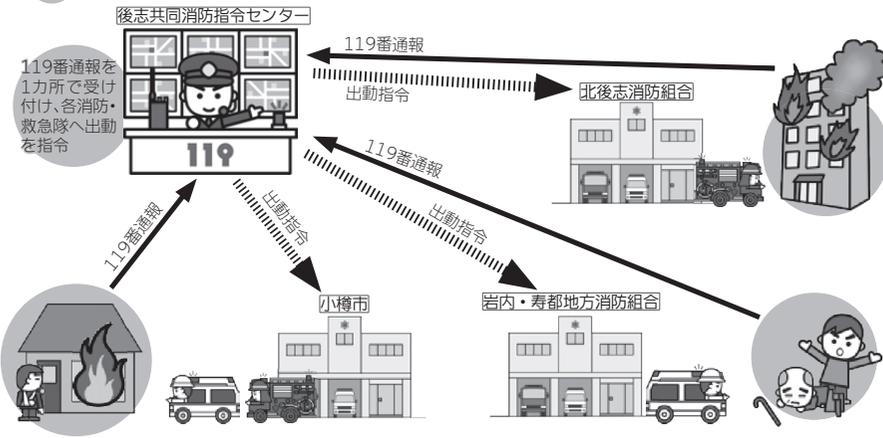
- ▶ 消防車や救急車の出動・現場到着時間の短縮
- ▶ 市町村の規模に関わらず同一の住民サービスを提供
- ▶ 多様な119番通報に最新機能で対応
- ▶ 複数地域で同時に災害が発生した際に、正確な情報を収集・分析。人員・物資の適切な調整が可能となり、被害の拡大を防ぐ

運用の開始日時は、決まり次第市ホームページなどでお知らせします。

通報時は市町村名から伝える

後志管内には、同じ町名の地域が多くあります。「後志共同消防指令センター」の運用が始まる8年2月下旬からは、通報時に市町村名を伝えてください。また、119番は緊急通報専用です。「今の火事はどこ？」「搬送先の病院は？」といった問い合わせは受け付けていません。このような問い合わせに対応していると、本当に助けを必要としている方の通報を受け取れない可能性があります。消防車や救急車を一刻も早く現場に向かわせるために、ご協力をお願いします。

通報受け付けと出動指令のイメージ



令和7年度上半期 予算執行状況

市政情報

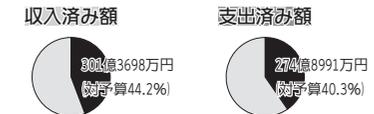
市では年4回、予算の内容やその執行状況を公表しています。今回は、7年度上半期（4月～9月）の、予算や業務の執行状況についてお知らせします。

【詳細】 財政課 ☎(32)4111内線231、☎(23)0675

一般会計

基本的な会計。特別会計や企業会計でを行う事業を除く、すべての行政サービス（福祉、教育、商工業の振興、道路の整備など）を経理しています。

予算額 681億3346万円(収入・支出とも同額)



特別会計

一般会計と区分して経理する会計。国民健康保険事業など、五つの事業の状況を明確にしています。

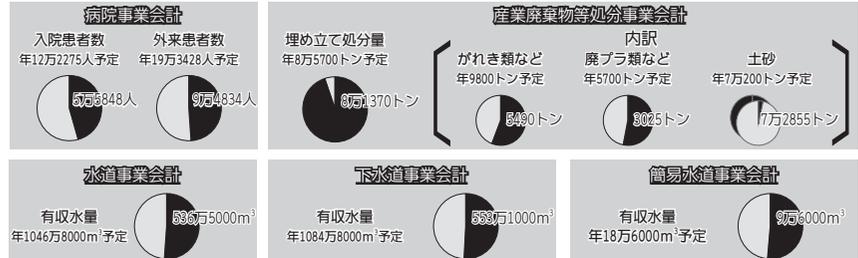
予算額 316億632万円(収入・支出とも同額)



※収入より支出の割合が高いのは、市で行う事業の中には国や道からの補助や市債（市の借金）により実施されるものがあり、これらの収入は、事業が完了してから支払われることが多いためです。

企業会計

利用者からの料金を基に、一つの企業として個別に経理する会計。次の五つの会計を設けています。



※有収水量とは、料金徴収等の対等となった水の量。

その他

市債 754億1613万円
(市の借金)

市有財産 1819億2844万円

内訳
土地 763億6602万円
建物 838億6905万円
その他 216億9337万円

※道路・橋・企業会計分を除く。

市税の収入済み額 86億340万円

一人当たり 8万3660円	一世帯当たり 14万3737円
---------------	-----------------

※9月30日現在の人口・世帯数で除した額。実負担額とは異なる。

上半期に行った 主な取り組み

放課後児童クラブの拡充

児童が安全・安心に過ごす居場所を確保するため、開設時間を拡大したほか、サービスの充実・質の向上を図るため、運営業務を民間事業者へ委託。

冷房設備を設置

公立保育所や子ども発達支援センター、いなきた児童館等に冷房設備を設置。

観光船ターミナルを整備

小樽港から発着している観光船の乗り場を第3号ふ頭集約し、利便性を向上。また、イベント等に利用できる多目的ホールを併設した観光船ターミナルを整備。

ゼロカーボンを推進

環境イベント、デコ活普及事業を実施。また、事業者向けに、省エネルギー診断補助の拡充、ゼロカーボン認定制度を創設。

健康ポイント付与事業と連携

北海道済生会がウイングベイ小樽で実施している「ウイングベイウォーキング」のポイント付与事業と連携。市のがん検診を受診した市民にポイントを付与。

自動運転E.V.バスを実証運行

市内バス路線網の維持に向け、バス乗務員不足等の課題解消の手段の一つとして自動運転E.V.バスの実証運行を実施。